

平成 29 年度 東三河振興ビジョンの進捗状況

～豊かさが実感できる 輝く「ほの国 東三河」の実現に向けて～

主な取組の一覧

- 本資料は、東三河振興ビジョンに沿った平成 29 年度の主な取組についてまとめたもの。
- 以下の取組を優先して記載した。
 - ① 平成 29 年度に新たに実施されたもの
 - ② 類似の取組がないもの
 - ③ 規模の大きいもの
- 各取組ごとに、関連する主要プロジェクト推進プランを以下の記号で表示した
 - スポーツ** …… スポーツ大会を活かした地域振興
 - 地域連携** …… 地域連携事業の戦略展開
 - 地方創生** …… 地方創生事業の広域展開
 - 新東名** …… 新東名インパクトを活かした地域振興～広域観光の新展開～

1 東三河の魅力の創造・発信 ～地域内外に誇りうる魅力ある地域づくり～

【施策の方向性】

変化し続ける観光客のニーズや他地域との差別化を念頭に置きながら、伝統文化等の各地域の特性を活かした個性的な地域づくりや、地域資源の磨き上げを行っていきます。また、東三河の魅力が的確に伝わるよう、地域ブランドの構築を図っていきます。

さらに、広域交通網の整備効果を活かしながら、国内外からの誘客を強化するため、遠州地域や南信州地域、伊勢志摩地域等と連携しながらプロモーションを展開していきます。

「愛知 DC」プレキャンペーンの実施【JR グループ、県】

- 平成 30 年 10 月から 12 月の期間に開催する「愛知ディステイネーションキャンペーン」に先立ち、プレキャンペーンを実施。「Japan Highlights Travel」プラン購入者へのクーポン付きガイドマップ「未来クリエイター愛知 満喫ガイドマップ」の進呈や、「さわやかウォーキング」連動企画などが実施されました。

・開催期間：平成 29 年 10 月 1 日（日）から 3 か月間

地方創生



(愛知 DC ロゴマーク)

「三遠南信食の祭典 in 茶臼山」の開催【豊根村】

- 三遠南信や各地域のブランド、ネームバリューの向上を目的に、三遠南信の地理的な真ん中である茶臼山高原で、食をテーマとしたイベント「三遠南信食の祭典 in 茶臼山」を開催。

・開催日：平成 29 年 9 月 24 日（日）

・来場者：12,000 人

地方創生



(三遠南信食の祭典)

奥三河 DMO の設立【(一社) 奥三河観光協議会、新城市、設楽町、東栄町、豊根村、県】

- (一社) 奥三河観光協議会が、平成 29 年 3 月 28 日に「日本版 DMO 候補法人」の登録を国に申請し、平成 29 年 5 月 12 日に認定。さらに、平成 30 年 3 月 30 日に、愛知県初の「日本版 DMO 法人」に登録。

奥三河地域が目指す観光コンセプトとして「おいでん奥三河-交流を生む観光まちづくり-」を掲げ、地域の観光まちづくり実践者や観光協会と連携し、観光まちづくりを推進。

※DMO：Destination Management /Marketing Organization の略

地域の『稼ぐ力』を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する『観光地経営』の視点に立った観光地域づくりを行う推進体制。

新東名

奥三河パワートレイルの開催【新城市、設楽町、東栄町、豊根村、県】

- 茶臼山高原（豊根村）から湯谷温泉（新城市）までを走るトレイルランニング大会「奥三河パワートレイル」を開催。

〈第3回大会〉

- ・開催時期：平成29年4月29日（土）～30日（日）
出走者数：838人（うち完走者数411人）

- エイドステーションにおいて、ランナーに地域特産品を提供するとともに、上位入賞者へ東栄町のチェーンアートで作成したクマタカのトロフィーを贈呈。
- フィニッシュ会場で開催された「トレランEXPO」では、長篠陣太鼓の演奏を実施するとともに、奥三河の特産品を販売。

スポーツ 地方創生



（奥三河パワートレイル）



（エイドステーションの様子）

ダモンデトレイルの開催支援【新城市】

- トレイル初心者でも楽しめるようソロ、もしくは1チーム4人までのチームで交代しながら走り、3時間の周回数を競うトレイルランニング大会「ダモンデトレイル」を開催。（地域おこし協力隊による立上げ）

愛知県民の森を流れる大津谷川沿いに整備されたトレイルを利用した特設コース（1周約2.7km）で実施。

- ・開催時期：平成29年5月14日（日）
平成29年10月15日（日）

スポーツ 地方創生



（ダモンデトレイル）

セーリング国際大会の開催【蒲郡市、県】

- 「豊田自動織機 海陽ヨットハーバー」において、テザー級ヨット世界選手権大会及びセーリングワールドカップを開催。

テザー級ヨット世界選手権大会

- ・開催時期：平成29年7月30日（日）～8月6日（日）

セーリングワールドカップ愛知・蒲郡大会

- ・開催時期：平成29年10月15日（日）～22日（日）

スポーツ 地方創生



（セーリングワールドカップ）

陸上競技場の整備【豊橋市】

- 豊橋市陸上競技場は、日本陸上競技連盟3種公認陸上競技場として、低酸素トレーニング、認知動作型トレーニングを行える機器や、クロスカントリーコースが整備され、選手を育てる陸上競技場としてリニューアルオープン。



（豊橋市陸上競技場）

「豊田自動織機 海陽ヨットハーバー」の機能強化【県】

- 大規模な国際大会にも対応できるよう、クラブハウスや浮桟橋などの施設を拡充。平成29年9月14日に、海陽ヨットハーバー整備工事の完成式を開催。

スポーツ

地方創生

新東名



(海陽ヨットハーバー)

「あいちスポーツコミッション」による支援【県】

- 全国、世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげる取組を地域の関係者で連携・推進するため、「あいちスポーツコミッション」を平成27年4月1日に設立。自治体の他にも、スポーツ関係団体、経済・観光団体、マスメディア、企業・NPOなどが参画し、地域の関係者が一体となって、スポーツ大会招致、合宿誘致、大会育成活動、地域活性化促進活動等の取組を推進。

スポーツ

地方創生

「あいち花フェスタ in 東三河」の開催【豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、JA ひまわり、JA 蒲郡市、JA 愛知みなみ、JA 豊橋、JA グループ愛知、愛知県花き温室園芸組合連合会、県】

- 全国一の花き生産を誇る「花の王国あいち」をPRし、花に親しみ、花のある暮らしを提案することを目的に、「あいち花フェスタ in 東三河」を開催。フラワーディスプレイや花縁日、ステージイベント、花の栽培施設を巡るツアーなどを実施。

〈プレスステージ〉

開催期間：平成29年11月4日(土)～5日(日)の2日間

開催場所：ほの国百貨店

来場者数：13,000人

〈メインステージ〉

開催期間：平成30年2月9日(金)～12日(月・振替休日)の4日間

開催場所：田原文化会館・田原市総合体育館

来場者数：47,900人



(あいち花フェスタ in 東三河)

地方創生

東三河の魅力情報発信・拡散ツアーの実施【県】

- 東京圏在住者等を対象として、ツアー参加者にSNS等で東三河の魅力を発信・拡散してもらうことを目的に、特定のツアーテーマを深く掘り下げる「東三河魅力満喫ツアー」を開催。併せて、ツアー参加者によるSNS等の投稿コンテンツを実施。

〈第1弾〉三河港編(参加人数20名)

実施日：平成29年9月23日(土)～24日(日)

内容：メロン狩り体験、クルーザー型ヨット乗船体験等

〈第2弾〉女子旅編(参加人数16名)

実施日：平成29年10月28日(土)～29日(日)

内容：胡蝶蘭生産農家見学等

〈第3弾〉戦国ロマン編(20名)

実施日：平成29年11月25日(土)～26日(日)

内容：鳳来寺山表参道散策、設楽原歴史資料館見学等



(メロン狩り体験)

地方創生

東三河「速・楽」観光キャンペーンの実施【県】

○ 渋滞緩和や時間短縮等の新東名開通効果を体感している名古屋圏の住民を対象に、「行きたいと思った時に何度でもすぐ行ける東三河」のイメージを発信し、再来訪や周遊につなげるためのキャンペーンを実施。

- ・実施日：平成 29 年 10 月 7 日（土）
- ・場 所：イオンモール熱田
- ・内 容：バーチャル手筒花火体験、甲冑試着体験及び火縄銃レプリカ展示など
- ・来場者：約 2,500 人

地方創生

新東名



(バーチャル手筒花火体験)

三河山間地域誘客促進事業の実施【県】

○ 三河山間地域の魅力等を様々なメディア等を活用して情報発信。交流人口の増加を図り、経済活動の拡大や移住・定住を促進。

- ・TVによる情報発信 : 30分枠各9回
- ・WEBによる情報発信 : HP運営、フォトコンテスト開催
- ・オリジナルバスツアー実施 : ツアー回数6回、参加者数 延べ66人
- ・イベントにおけるシャトルバスの運行 : 運行台数13台、乗車人数 延べ1,252人

地方創生



(山里の魅力創造社HP)

クルーズ船寄港地観光の推進【蒲郡市】

○ 8月と3月の2度、三河港蒲郡地区に、クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」が寄港。寄港地市町村と近隣市町村等が連携しながら、一斉に上陸する観光客にサービスを提供。

地方創生

新東名

東三河ブランドショップ事業計画の策定【東三河広域連合】

○ 東三河ブランドショップ設置に向けた詳細な検討を行うための基礎資料として、具体的な候補地やショップの機能、設置・運営に係る費用やスキーム、費用対効果など、様々な角度から検討可能な事業計画を策定しました。

地域連携

地方創生

アンテナショップの実施【豊橋市】

○ 平成 29 年度の第 2 土曜日を基本に毎月 1 回、全国の農産物などが販売される東京都千代田区の交通会館マルシェで、豊橋産の農産物と加工品を販売。

地域連携

地方創生

新東名



(アンテナショップの様子)

のんほいパークの夜間開園【豊橋市】

- のんほいパークの魅力を向上させるため、プロジェクトマッピングの新規プログラムを作成し、ナイトZOOを充実させるとともに、遊園地エリアの夜間開園日を拡充。

新東名



(のんほいパーク夜間開園)

ロケ誘致支援による連携強化【愛知県東三河広域観光協議会】

- 東三河の自然風景や情緒等を活かし、ロケ支援を通じた地域振興、観光振興を図ることを目的として設立された「ほの国東三河ロケ応援団」による撮影協力の取組を実施。
- 9月と12月に豊橋市役所、豊橋市公会堂周辺、広小路通りなどで行われたTBS連続ドラマ「陸王」のロケに協力。5日間で延べ2万人以上のエキストラを動員。

地方創生



(撮影風景)

「東栄フェスティバル」の開催【東栄町】

- 東栄町内の各地区に伝わる国指定重要無形民俗文化財「花祭」の披露のほか、設楽町「貝津田棒の手」、長野県飯田市「遠山の霜月祭」、浜松市「寺野ひよんどり」など、三遠南信地域に伝わる伝統芸能が集結し、それぞれの祭りの見どころの披露を行った。

・開催日：平成29年11月3日（日・祝日）

・来場者：14,000人

地方創生



(東栄フェスティバル)

地域おこし協力隊の活動【新城市、設楽町、東栄町、豊根村】

- 新城市、設楽町、東栄町、豊根村では地域おこし協力隊が活動しており、スポーツツーリズム関連活動、地場産業の魅力化研究員、ビューティーツーリズム naori（なおり）事業、チョウザメ養殖技術の取得と産業化への取組などを推進。

〈地域おこし協力隊の人数（平成29年度）〉

新城市3人、設楽町4人、東栄町4人、豊根村5人

スポーツ

地方創生

新東名

2 豊かな自然の保全・再生 ～人と豊かな自然が共生する地域づくり～

【施策の方向性】

里地・里山・里海における生物多様性保全の取組により、森・川・海の命が連なる流域圏づくりを推進していくとともに、豊かな自然環境を農林水産業の生産の場としてはもとより、教育や健康増進、観光振興等の地域資源としての活用を進めていきます。

また、三河湾の環境再生に向けては、流域全体での関心を高めながら、陸域からの汚濁負荷量の削減や、多様な生態系の働きによる水質浄化機能の回復等に取り組んでいきます。

東三河ジオパーク構想の推進【市町村、県】

- 平成 28 年 5 月に東三河 8 市町村が参加する「東三河ジオパーク構想推進準備会」を発足。
- 平成 30 年 3 月に、東三河ジオパーク構想のとりまとめに向けたテーマ「中央構造線でつながる大地！『ほの国 東三河！』」を決定。
- 東三河の大地の魅力を発信する人材を育成するためジオガイドの養成を実施。
 - ・ジオガイド養成講座（平成 29 年度：8 講座）受講者 59 名
 - ・修了試験 合格者 40 名
 - ・ジオガイド認定講座【前期】（平成 29 年度：4 講座）受講者 38 名
- 東三河ジオパーク構想の普及啓発を目的としたシンポジウムを開催。
 - ・開催日：平成 29 年 10 月 1 日（日）
 - ・会場：設楽町奥三河総合センター
 - ・参加者：67 名
- 東三河のジオ(大地)の魅力や、大地と動植物・人との関わりを体感するジオツアーを 2 回開催。
 - 〈第 1 回〉平成 29 年 10 月 1 日（日）、設楽町内、参加者 55 名
 - 〈第 2 回〉平成 29 年 11 月 11 日（土）、蒲郡市内、参加者 32 名



（奥三河の台地をめぐるジオツアー）

地域連携

三河湾環境学習会の開催【県】

- 小中学生を対象に三河湾の環境について学んでもらうため、蒲郡市沿岸及び三河湾海上で、三河湾環境学習会を開催。
- セミナーで三河湾の環境について学んだ後、県立三谷水産高等学校の実習船「愛知丸」に乗船し、船内見学、三河湾海上での環境調査などを実施。
 - ・開催日：平成 29 年 8 月 5 日（日）
 - ・参加者数：55 人



（三河湾環境学習会）

「いらごさららパーク」の希少種エリア供用開始【田原市・県】

- 伊良湖休暇村公園内において全国初の砂丘とオアシス（湧水）の再生をテーマとした「いらごさららパーク」を整備。
- 希少な海浜性植物の展示・保全を目的とした「希少種エリア」は、平成29年度末をもって工事が完了し、供用開始。
- 休暇村伊良湖と共にアウトドアフェスタを実施。
 - ・開催日：平成29年9月24日（日）



(希少種エリアの「ハギクソウ」)

アカウミガメ保護のための表浜海岸の共同パトロール【豊橋市、田原市、県】

- アカウミガメの産卵期を迎え、行政と地域の保護団体等が協力して、豊橋市小島海岸と田原市赤羽根西海岸の2箇所パトロールを実施。
 - ・開催日：平成29年6月11日（日）

自然環境の保全・再生を担う人材育成【県】

- 伊良湖休暇村公園施設等の魅力を発信するための「自然公園魅力発信コアリーダー養成講座」を開催。
 - ・開催日：平成29年10月14日（土）～15日（日）、11月19日（日）の3日間
 - ・内容：フィールドワーク、SNS等による情報発信、ツアーガイドの実践等
 - ・参加者：11名
- 東三河の里川環境における取組等を発信するための「里川フィールドリーダー養成講座」を開催。
 - ・開催日：平成29年9月17日（日）～18日（月・祝日）の2日間
 - ・内容：水辺環境の基礎知識の学習、魅力発信のためのカード作成等
 - ・参加者：19名

「奥三河高原 ジビエの森」の運営支援【設楽町】

- 奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会に対して、「奥三河高原 ジビエの森（平成27年4月稼働）」の運営を支援。
 - イノシシ・ニホンジカを食肉加工し、道の駅「もっくる新城」等奥三河地域の飲食店等へ食材を供給。



(奥三河高原 ジビエの森)

3 地域産業の革新展開 ～力強い産業が展開する地域づくり～

【施策の方向性】

環境問題や高齢社会への対応といった社会的課題に焦点を当てながら、本地域の強みであるモノづくりの素地を活かし、次世代自動車や健康長寿、新エネルギーといった次世代産業の創出・集積や、それらの産業をリードする人材の育成を進めていきます。

また、農林水産業については、農商工連携や産学官による技術開発等の促進、さらには海外マーケットへの進出により、地域を牽引する成長型産業への躍進を図っていきます。

海外マーケットに対する販路開拓

【あいちの花き輸出促進実行委員会※】

- 愛知県産花きの輸出の取組を一層促進するため、一般社団法人日本植物輸出協議会、独立行政法人日本貿易振興機構名古屋貿易センターと連携して、海外バイヤーを招聘し、海外ニーズが見込まれる県内の花き産地ツアーを開催。

- ・開催日：平成30年1月12日（金）～1月13日（土）の2日間

- ・内 容：スイートピー、トルコキキョウ、グロリオサ生産ほ場視察（田原市内）
デルフィニウム生産ほ場視察（豊橋市内）
スプレーバラ生産ほ場視察（豊川市内）

- ・海外バイヤー参加国：ロシア、UAE、ベトナム、インドネシア、フィリピン、中国、オーストラリア



（花き産地ツアー）

※あいちの花き輸出促進実行委員会

愛知県、愛知県経済農業協同組合連合会、愛知県花き温室園芸組合連合会によりH29年度に設立。

地域連携

【三遠南信】

- 平成 29 年 11 月に、三遠南信連携として初の海外プロモーションをマレーシアで実施。豊橋市長・田原市長が現地スーパーの店頭立ち、マレーシアにおける初のトップセールスも実施。また、マレーシアの現地バイヤーを招聘し、産地に対する理解を促進。



(豊橋市長・田原市長によるトップセールス)

地域連携

【豊橋市】

- 農産物の海外販路を開拓および拡大するため、農家など市内関係者と連携した輸出体制の構築を推進。

地域連携

平成 29 年度 海外マーケットに対する販路開拓の実施内容

	期間	対象国	内容
現地バイヤーの招聘	平成 29 年 10 月	マレーシア	農場見学（次郎柿、ミニトマト等）・商談会
プロモーションの実施	平成 29 年 9 月、11 月	シンガポール	量販店での試験販売（次郎柿、梨、イチゴ）
	平成 29 年 10 月、平成 30 年 2 月	タイ・バンコク	店頭プロモーション（次郎柿、イチゴ）
シェフセミナーの実施	平成 29 年 11 月	香港	中華シェフ向けに豊橋産農産物を、料理デモを交え、紹介

【蒲郡市】

- 「香港フード・エキスポ 2017」にブース出展し、市の食品関連事業者の海外販路開拓を支援。
 - ・ 期 間：平成 29 年 8 月 17 日（木）～8 月 19 日（土）の 3 日間
 - ・ 場 所：香港コンベンション&エキシビジョンセンター
 - ・ 参加者：食品関係事業者 4 社



(香港フード・エキスポ 2017)

地域連携

【田原市】

- 海外販路開拓のため、シンガポールにおいて田原市産農産物の販売プロモーション「田原市フェア」を開催。
 - 〈第 1 回〉
 - ・ 期間：平成 29 年 7 月 21 日（金）～7 月 27 日（木）の 7 日間
 - ・ 場所：シンガポール伊勢丹
 - ・ 内容：農産物のプロモーション等
 - 〈第 2 回〉
 - ・ 期間：平成 30 年 2 月 10 日（土）～2 月 15 日（木）の 6 日間
 - ・ 場所：シンガポール伊勢丹
 - ・ 内容：花きを中心とした販売プロモーション等



(プロモーションの様子)

地域連携

「あいち花フェスタ in 東三河」の開催<<再掲>>

【豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、JA ひまわり、JA 蒲郡市、JA 愛知みなみ、JA 豊橋、JA グループ愛知、愛知県花き温室園芸組合連合会、県】

- 全国一の花き生産を誇る「花の王国あいち」をPRし、花に親しみ、花のある暮らしを提案することを目的に、「あいち花フェスタ in 東三河」を開催。フラワーディスプレイや花縁日、ステージイベント、花の栽培施設を巡るツアーなどを実施。

〈プレステージ〉

開催期間：平成 29 年 11 月 4 日(土)～5 日(日)の 2 日間

開催場所：ほの国百貨店

来場者数：13,000 人

〈メインステージ〉

開催期間：平成 30 年 2 月 9 日(金)～12 日(月・振替休日)の 4 日間

開催場所：田原文化会館・田原市総合体育館

来場者数：47,900 人



(あいち花フェスタ in 東三河)

地方創生

企業誘致推進【豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市】

- 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市の 5 市が連携し、企業誘致に向けて「東三河 5 市企業連携懇談会」を東京都で開催。

- ・開催日：平成 30 年 1 月 25 日 (木)
- ・場 所：浜松町東京會館
- ・参加企業：13 社、19 名



(企業連携懇談会の様子)

あいち農業女子現地交流会【県】

- 農業女子が活躍する現地を訪問し、実際の職場で「日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵」を実際に「見て・触れて・聞いて・交流」する体験プログラムを県内 4 コースで実施。

- ・コース：東三河コース
- ・開催日：平成 29 年 11 月 12 日 (日)
- ・場 所：榎本はちみつベリーファーム (豊川市) 他



(現地交流会の様子)

再生医療産業化の推進【蒲郡市】

- 蒲郡市ヘルスケア計画に基づき再生医療のまちづくりを推進するため、再生医療に関する事業を企画運営する「蒲郡再生医療産業化推進委員会」を設立。
- 再生医療の実用化及び産業化の実現化に向けた取組を推進。

- ・小学生体験講座：17 名参加
- ・再生医療キャリアビジョン育成ツアー：27 名参加
- ・市民ワークショップ「考えよう再生医療」：19 名参加



(小学生体験講座の様子)

4 安心・安全な地域づくり ～安心して安全に生活できる地域づくり～

【施策の方向性】

東海、東南海及び南海地震の三連動地震や南海トラフを震源とする巨大地震、台風・集中豪雨等の自然災害に対し、ハードとソフトの両面において、生命・財産を守る防災・減災対策を強化していきます。

また、医療や介護の課題に対し、地域間における連携や地域全体での支え合い等を促進しながら、充実・強化を図るとともに、交通安全・防犯対策を進め、地域の安心・安全を確保する取組を強化していきます。そして、奥三河においては、集落機能の維持・再生や生活環境までを見据えた、きめ細かな対応を行っていきます。

三河港（神野地区）耐震岸壁整備【三河港振興会・県】

- 南海トラフ巨大地震など、大規模地震時における背後圏の緊急物資輸送及び物流機能の維持を目的とした「三河港（神野地区）耐震強化岸壁」の整備について、事業主体である国に働きかけを実施。岸壁の延伸と、それに伴う県が実施しているふ頭再編により、平時の効率的な物流機能が確保され、三河港を利用する地域の産業の国際競争力向上を期待。



(耐震岸壁整備の状況)

三河の山里サポートデスクの運営【県】

- 移住や起業、集落支援などを総合的にサポートする現地拠点「三河の山里サポートデスク」を運営し、その取組のひとつとして、「三河の山里集落応援隊」による集落活動支援を実施。
- 集落活動の応援を個人に呼びかけ草刈り作業やイベントのお手伝いなど三河山間地域の集落等の望む活動とマッチングし、交流しながら集落機能の維持・活性化を促進。
 - ・平成29年度登録者 47人 (H30.3.31現在)

地方創生

過疎バス路線維持に対する支援【県】

- 山間地域の住民の足として利用されている「乗合バス事業者の運行路線」及び三河山間地域市町村が住民の交通の利便を確保するため運行する「市町村営バス路線」の維持に対する支援を実施。



(おでかけ北設バスコトキャラクター)

5 誰もが活躍できる地域づくり ～誰もが希望を持って活躍できる地域づくり～

【施策の方向性】

若者、女性、高齢者、外国人など誰もが能力を十分に発揮し、社会の様々な場面で活躍できるよう、きめ細かな教育環境づくりや職業観・職業能力の育成、多様な柔軟な働き方を可能とする就業環境の整備などの取組を進めていきます。

また、拡大する公共ニーズを地域全体で支える「新しい公」の担い手として、企業やNPOなど様々な主体との連携・協働を促進し、相乗効果を生み出していきます。

社会人キャリアアップ連携協議会による連携強化

【東三河の4大学、豊橋市、豊川市、田原市、㈱サイエンス・クリエイト、東三河広域経済連合会、県】

- 平成26年10月に、産学官が連携し、地域産業・地域社会を支える社会人のキャリアアップ・システムの構築・推進を目指す「社会人キャリアアップ連携協議会」を設立。
- 平成29年度は、「人生100年時代、みんなが輝くまち、東三河をつくる！」をテーマとしたシンポジウム等を開催。
 - ・開催日：平成30年2月8日（木）
 - ・会場：穂の国とよはし芸術劇場PLAT
 - ・参加者数：約100名



(社会人キャリアアップ連携協議会シンポジウム)

地方創生

東三河産業アカデミーの開催【東三河広域経済連合会】

- 東三河の商工会議所・商工会が連携し、全会員を対象として経営幹部及び管理監督者向け人材育成セミナーを開催
- 平成29年度は、「IoTビジネス中小企業のビッグデータ活用セミナー」等、18講座を開催。

地方創生

若年者雇用促進対策事業【県】

- 大都市圏からの若者の流入を促進するとともに、地元企業の人材採用スキルの向上と若者の円滑な就職活動を支援することで、産業人材の確保と若者の定住を図るため、人材流入促進事業等を実施。
 - ・人材流入促進事業
 - 東三河ワーク×ライフ体感ツアー 2回
 - 東三河ワーク×ライフ発見フェア 2回
 - ・採用活動支援事業
 - 新卒採用支援セミナー 2回
 - ・就職活動支援事業
 - 東三河ワーク×スタイル研究会 7回
 - 保護者のための就活支援セミナー 2回



(東三河ワーク×ライフ体感ツアーの様子：㈱新来島豊橋造船見学)

地方創生

「まじカフェ」・「あうカフェ」の開催【豊橋市、蒲 郡市、東三河広域連合】

- 学生が就職や仕事について考える機会をつくる
とともに、学生に地元企業の魅力を知っていただ
くため、学生が地元企業と気軽に交流できる「ま
じカフェ」・「あうカフェ」を開催。

「まじカフェ」（豊橋市、東三河広域連合）

〈豊橋技術科学大学附属図書館〉

開催期間：平成30年1月29日～2月2日

参加企数36社、参加学生105名

〈タリーズコーヒー豊橋駅前店〉

開催期間：平成30年2月8日、15日、19日、
20日、22日

参加企数52社、参加学生86名

「あうカフェ」（蒲郡市、東三河広域連合）

〈愛知工科大学〉

開催期間：平成30年2月2日、5日、6日

参加企数9社、参加学生52名

地方創生



(まじカフェの様子)



(あうカフェの様子)

東三河地区中高連携キャリアフレッシュセミナーの開催【県】

- 東三河8市町村の中学1年生に、東三河の高校の学科紹介（普通科・専門学科の
高校10校10学科）と高校生との語り合いを通して、将来の夢や進路を考える機
会を創出するキャリアフレッシュセミナーを開催。

- ・開催日：平成29年10月28日（土）
- ・会 場：ライフポートとよはし
- ・参加者数：約400名（中学1年生と保護者）

地方創生

愛知県立田口高校『お仕事フェア』開催【設楽町・東栄町・豊根村】

- 平成29年12月7日に、卒業後の就職を見据え、地
元に定着して働くことを選択肢として考えてもらえ
るよう、高校体育館で『お仕事フェア』を開催。地元
企業など16社が出展。平成29年度は、高校生（1
27人）だけでなく、中高一貫教育を行っている設楽
町立設楽、津具、東栄町立東栄、豊根村立豊根の郡内
4中学校の2年生（49人）が参加。

地方創生



(『お仕事フェア』の様子)

ビジネスパーク事業によるキャリア教育の実施【豊橋市、豊橋商工会議所】

- 豊橋市のキャリア教育の一環として、地域の社会人が、職業の内容や地域で働く役割・意義などを中高生に伝えることで、生徒が将来や職業を考えるきっかけを創出。

〈平成 29 年度春〉

- ・参加校数 13 校、参加生徒数 2,375 名、講師数 167 名、130 講座

〈平成 29 年度秋〉

- ・参加校数 8 校、参加生徒数 1,040 名、講師数 92 名、66 講座

地方創生



(ビジネスパークの様子)

「豊橋イノベーションガーデン」を核とした人材育成【豊橋市、サイエンスクリエイト】

- 下記の三つの機能を備えた「豊橋イノベーションガーデン」として、ワークショップや講習会、食品の試作、ハッカソンの開催など、多彩なメニューにより、ハード・ソフト両面から起業家や技術者を育成するとともに、様々な交流を創出。

〈メイカーズ・ラボとよはし〉

最新のデジタル工作機械を備えた新たなものづくりの場

〈Startup Garage〉

起業や経営相談、コワーキングスペース、異業種の人材交流の場

〈アグリフード・ラボ〉

地域の農産物を活用した食品メニューの試作の場



(Startup Garageの様子)

※ハッカソン: ハック(hack)とマラソン(marathon)を組み合わせた言葉。提示されたテーマに対して、決められた時間の中で、自分たちのスキルを活用して何らかの成果物を製作する、参加型のイベント。

地方創生

次世代「農力」UPアカデミー事業補助金【豊橋市】

- 地域の産学官金が連携し、植物工場の管理運営をはじめとする先端技術に長けた農業人材の育成講座や次世代農業を担う人材確保のためのインターンシップ事業を実施。

地方創生



(インターンシップの様子)

あいちワーク・ライフ・バランスの推進運動【あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会】

- 仕事と生活の調和した社会の実現に向けて、「愛知県内一斉ノー残業デー」として定時退社を促す街頭啓発活動を県内 5 箇所を実施。

- ・開催日: 平成 29 年 11 月 15 日 (水)
- ・会場: 豊橋駅ペDESTリアンデッキ 他

6 地域を支える社会基盤の整備 ～地域の産業や暮らしを支える社会基盤の整備～

【施策の方向性】

「東三河1時間交通圏」を確立する道路整備や、バス、鉄道、フェリーといった地域公共交通の維持・確保により、地域内外とのネットワークを充実していきます。

また、世界と直結する三河港の機能強化を進め、グローバルに事業展開する産業を支えるとともに、三河港周辺の国際的な生産・物流拠点の形成や新たな産業集積につなげていきます。

あわせて、活発な産業活動が持続可能となるよう、水資源やエネルギーの安定的・恒久的な確保を図っていきます。

広域的な幹線道路網の整備促進【市町村、東三河広域経済連合会、県】

- 三遠南信自動車道、名豊道路の未開通区間の早期整備や浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現等を地域が一体となって国に働きかけるなど、広域的な幹線道路網の整備を促進。
- 浜松三ヶ日・豊橋道路については、平成29年8月、国、愛知・静岡2県、豊橋・田原・浜松・湖西4市による連絡調整会議が発足。平成30年3月、平成30年度中部地方整備局関係予算概要で、「概略ルート・構造の検討」を発表。さらに、平成30年4月、連絡調整会議がサービス水準、概ねの起終点を発表。
- 国道151号においては、宮下交差点立体化に向け、予備設計、地質調査を実施。

新東名

三河港の機能強化【県】

- 神野西地区、御津地区におけるふ頭用地の整備や、神野西地区、蒲郡地区における岸壁の整備を実施。ラグーナ大塚地区支援策として臨港道路を整備。

市民ファンドを活用した公共施設における太陽光発電事業【市町村・県】

- 地域住民と一体となった再生可能エネルギーの導入拡大を図るため、市民ファンドを活用した資金調達を条件として、公共施設における屋根貸し太陽光発電事業者を公募。
- 愛知県では、平成27年6月18日から発電を開始した水産試験場を始めとする5施設で発電を継続。
- さらに、平成28年4月25日には、豊川浄化センターの敷地を活用した太陽光発電施設(1,990kW)が稼働。
- 新城市では、市民ファンドを活用して出資を募り、新城市文化会館を始めとする23施設で発電を開始。
- 豊橋市では、第三セクター「サイエンス・クリエイト」が市民ファンド(みんなおい電市民ファンド)を活用して豊橋市民から出資を募り、市の遊休施設を活用した太陽光発電所を設置。平成27年4月より発電を開始。平成28年6月に出資者へ初配当を実施。



(名豊道路の整備(蒲郡市内))



(三河港)



(豊川浄化センター)



(新城市文化会館)

水源林保全流域協働事業【豊川水源基金】

- 水源涵養などの公益的機能が減退しつつある水源林を保全するため、東三河の全市町村が協働し、水道料金1トン1円相当額を拠出することにより、森林整備を担う人材育成事業や森づくり事業を支援。



(森林整備を実施した森林)

豊川浄化センター汚泥処理施設等整備・運営事業【県】

- 豊川浄化センターにおいて、汚泥処理施設の改築とバイオマス利活用施設の新設及び運営を行う事業をPFI手法により事業化。平成26年12月に事業者と契約、平成29年2月1日より発電開始。



(豊川浄化センター：PFIで再稼働したメタン発酵施設)

豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業（中島処理場）【豊橋市】

- 中島処理場において、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥及び生ごみからバイオガスを生成し、エネルギー利用する事業をPFI手法により実施。平成26年12月に民間事業者と契約し建設を行い、平成29年10月1日より豊橋市バイオマス利活用センターとして供用開始。



(豊橋市バイオマス利活用センター)

7 地域力・連携力の発揮 ～愛知県、ひいては日本の発展の一翼を担う地域づくり～

【施策の方向性】

産業振興や行政の効率化など、地域の様々な課題を解決するため、地域づくりの主体となる県、市町村、経済団体、大学、NPO、住民等が共通の課題認識のもとに、それぞれが持つ強みを活かしあつた連携を推進していきます。

また、これまで培ってきた三遠南信連携の実績や信頼感をもとにしながら、より活発な取組へと深化させていきます。

東三河広域連合による連携強化《再掲》

- 平成 27 年度には東三河が出店を目指すべきアンテナショップのコンセプト及びモデルの構築、平成 28 年度には「まるごとにつぼん」、「東京シティアイ」にてブランドショップの実現性・実行性を図る実験を実施。これらを踏まえ、平成 29 年度は、東三河ブランドショップ設置に向けた詳細な検討を行うための基礎資料として、具体的な候補地やショップの機能、設置・運営に係る費用やスキーム、費用対効果など、様々な角度から検討可能な事業計画を策定しました。

地域連携 地方創生

東三河広域経済連合会による連携強化《再掲》

- 東三河地域の商工会議所・商工会が連携して、経営幹部及び管理監督者向けのハイレベルのスキルや知識を習得できる人材育成セミナー「東三河産業アカデミー」を実施し、人材育成・経営・商品開発等をテーマとした 18 講座を開催しました。

地方創生

愛知県東三河広域観光協議会による連携強化

- 平成 29 年度は、「連携強化」と「情報発信強化」をテーマに東三河各地域団体等との連携を図りながら「東三河の物産と観光フェア」、「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2017 への出展」、「飯田線全通 80 周年記念 PR イベント」、「東三河いいもの・うまいものフェア」等を実施。

<東三河の物産と観光フェア>

イオン(株)との共催により、初の取り組みとなった「東三河の物産と観光フェア」を開催。

- ・開催日：平成 29 年 5 月 19 日（金）～21 日（日）の 3 日間
- ・会場：イオン豊橋南店 食品売場催事スペース
- ・出展店舗数：17 店舗

<VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2017 への出展>

国内最大のインバウンド商談会である日本政府観光局主催「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2017」に参加し、各国のバイヤーへ東三河の魅力を PR。

- ・開催日：平成 29 年 9 月 21 日（木）～23 日（土・祝日）
- ・会場：東京ビッグサイト
- ・参加者総数：海外バイヤー 383 社（32 の国と地域）/海外メディア 17 社
国内セラー 577 社・団体

新東名

<飯田線全通 80 周年記念 PR イベント>

(株)ジェーアール東海エージェンシー主催の「飯田線全通 80 周年記念イベント」において、観光パンフレット等の配布や、PR ステージでの見どころ・イベントなどの沿線PRを実施。

- ・開催日：平成 29 年 7 月 30 日（日）
- ・会場：JR 名古屋駅 中央コンコース イベントスペース
- ・来場者：約 5,500 人

地方創生

新東名

<東三河いいもの・うまいものフェア>

「鉄道の日」に、飯田線全通 80 周年を記念して開催された JR さわやかウォーキングに合わせて、「東三河いいもの・うまいものフェア」を開催。

- ・開催日：平成 29 年 10 月 14 日（土）
- ・会場：豊橋駅南口駅前広場、豊橋駅東口サークルプラザ広場
- ・来場者：6,000 人
- ・出展店舗数：34 店舗

ロケ誘致支援による連携強化<再掲>【愛知県東三河広域観光協議会】

- 東三河の自然風景や情緒等を活かし、ロケ支援を通じた地域振興、観光振興を図ることを目的として設立された「ほの国東三河ロケ応援団」による撮影協力の取組を実施。
- 9 月と 12 月に豊橋市役所、豊橋市公会堂周辺、広小路通りなどで行われた TBS 連続ドラマ「陸王」のロケに協力。5 日間で延べ 2 万人以上のエキストラを動員。



(撮影風景)

地方創生

三遠南信連携の推進

- 「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」に設置した「道路」、「産業」、「安全・安心」の 3 つの事業部会を中心として、各事業を実施。三遠南信サミットを開催し、広域連合の設置に向けた検討を行うこと等を盛り込んだ宣言を採択。平成 28 年 9 月 23 日には愛知大学との間で、相互協力及び連携に関する協定を締結。

平成 29 年度は、平成 29 年 10 月 30 日に、浜松市で、「250 万流域都市圏、自立への喚起～新ビジョンの策定に向けて～」をテーマに、第 25 回三遠南信サミット 2017 in 遠州」を開催。



(三遠南信サミット チラシ)

社会人キャリアアップ連携協議会による連携強化<<再掲>>

【東三河の4大学、豊橋市、豊川市、田原市、(株)サイエンス・クリエイト、東三河広域経済連合会、県】

- 平成26年10月に、産学官が連携し、地域産業・地域社会を支える社会人のキャリアアップ・システムの構築・推進を目指す「社会人キャリアアップ連携協議会」を設立。
- 平成29年度は、「人生100年時代、みんなが輝くまち、東三河をつくる！」をテーマとしたシンポジウム等を開催。
 - ・開催日：平成30年2月8日（木）
 - ・会場：穂の国とよはし芸術劇場PLAT
 - ・参加者数：約100名

地方創生



(社会人キャリアアップ連携協議会シンポジウム)